

67 下伊那農業高等学校 平成25年度 下伊那農業高等学校 評価表（最終評価） 評価 A：目標を上回った B：ほぼ目標どおりできた C：目標を下回った

評価項目	評価の観点	評価のまとめ	評価
農業教育を充実させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の必要性や素晴らしさを生徒に伝えることができたか。 ・エコロジカル・アグリハイスクール宣言にみる5つのアクション、10の具体的実践について新たな取り組みができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化もにらみ、農業のおもしろさを教えることが出来た。 ・名古屋村塾への参加呼びかけを進める中、徐々に生徒の参加が見られるようになった。 	A
資格取得を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が資格取得に興味関心を示し、生徒ひとり一人が二種類以上の資格取得に取り組むことができるように指導することができたか。 ・時間外の講習会や長期休業中の補習を充実させ、合格率8割を目指すと共に、生徒にとって満足いく成果が得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や放課後の補習を通して、資格取得指導を計画的に進めたが、目標とした8割の合格者を出すことができなかった。今後も工夫し指導を続けていきたい。 ・年間3種類の資格を取得する生徒もあり、意欲ある生徒は様々な資格に挑戦してくれた。 	B
学習意欲を向上させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を向上させるため、校外実習や外部講師による授業など、授業内容を工夫し実践することができたか。 ・生徒にとって分かりやすい授業を実践することができたか。 ・また、理解できない生徒に対して事後指導がしっかりできたか。 ・年間を通して曜日のバランスを考え、授業時間数を確保することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先端の農業技術を習得させるため、外部講師による講習会を開催するなど質の高い学習指導が実践できた。 ・生徒の学習意欲を高めることに心掛け、授業実践をしている。理解不足の生徒への指導も実施しているが、生徒自身が自覚出来るよう指導していきたい。 ・年間計画の段階から、時間数や曜日の確保することができた。 	B
進路希望を実現させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒の実態に合った計画的指導ができたか。 ・進路が多様化する生徒に対し情報提供が十分できたか。 ・進学希望者に対する教科補習が十分できたか。 ・生徒が希望する進路を実現することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも計画に従った指導が実施できた。また、進学、就職指導に必要となる情報提供もできた。 ・公務員試験（市・消防）に合格者を出したが、国公立への進学指導が課題である。 ・就職者の面接指導に全職員で取り組むことができた。 ・日頃の指導により本年度も早い段階でほとんどの生徒が就職の内定を得られた。 	B
地域を理解し、地域との連携を深めるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が意欲的に参加し、活動した取り組みであったか。 ・地域の文化を取り入れた内容の活動を行い、地域文化を理解させることができたか。 ・実施した取り組みが、相手や地域の理解と評価を得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座で、生徒も講師として活躍させることができた。 ・各科の特性や校友会・農ク活動の一環として、機会を捉えて積極的な取り組みができた。こうした成果も報道機関を通じて季節の風物詩として紹介された結果だと考える。 	A
基本的な生活習慣を確立するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「身だしなみ」をきちんとする指導の実践ができたか。 ・問題行動を未然に防ぐ予防的指導ができたか。 ・集会の時は迅速に集合・整列し、整然とした集会を実施することができたか。 ・気持ちよい挨拶を習慣づけることができたか。 ・校内外の清掃活動を通して、ゴミの分別を徹底させ、リサイクルの必要性について認識させることができたか。 ・時間のけじめをつけさせ、休み時間の有効活用によるスムーズな授業開始や遅刻をなくす指導ができたか。 ・いじめを許さない学校作りを進め、生徒が発する小さなサインを見逃すことのない指導ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頭髪指導で苦慮する面もあるが、定期的な身だしなみ検査を継続的にを行い、注意喚起に取り組むことができた。 ・HR等を通じた指導の結果、生徒が問題行動も少なく落ち着いた学校生活を送ることができるようになった。 ・職員が整列させることにより集会時は整然と並べるようになった。 ・生徒会の挨拶運動もあり、来客からも挨拶が出来る学校だとの評価をいただいている。 ・日常の清掃指導により、ゴミの分別やリサイクルも徹底できている。 ・基本的に朝や授業の遅刻者は少ないが、ただ昼休み直後の授業に遅れる生徒が見られるため、来年度具体的な取り組みが必要である。 ・「こどな面接」や各種アンケートに取り組み、生徒状況の把握に努めることができた。 	B
課外活動を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が課外活動に積極的に参加し、活動することができたか。 ・個々の生徒が目標とする成果をあげることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域大会や各種大会に参加することで、県大会へ出場する班が多くあった。今後も大会への参加を続けたい。 ・農業機械科として、Hondaエコマイレッジチャレンジに継続的に参加し研究を深めた。 	A
安全教育を推進するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育に対する研修の機会を設け、それに参加することができたか。 ・あらゆる場面で、生徒の安全を意識した教育活動を実践することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED講習をとおして生徒の研修を深めることが出来た。 ・授業中も作業手順を示し実践し、安全な実験実習に備えている。 ・低電圧講習を受講する生徒を対象に、普通救命講習を実施できた。 ・交通講話やバイク講習等を行っているが、さらに一人ひとりの意識向上が必要である。 ・交通安全週間に委員会活動として登下校時立ち番指導を実施し、意識向上に努めた。今後も継続したい。 	A